

# 丹波



**葬儀式場** 24時間 電話受付  
**三星社**  
 各セレモニホール

- 三星社セレモニホール  
舞鶴市宇境谷129-2  
☎(0773)78-3232
- 三星社ゆら川ホール  
舞鶴市宇志高112-1  
☎(0773)83-9000
- セレモニ三星社ホール  
宮津市宇喜多2259-1  
☎(0772)25-1550

**丹波総局**  
 〒621-0805  
 亀岡市安町釜ヶ前  
 代表 0771 (22) 3515  
 FAX 0771 (22) 3517  
 tanba@mb.kyo-to-np.co.jp

**南丹支局**  
 〒622-0002  
 南丹市園部町美園町  
 代表 0771 (62) 0434  
 FAX 0771 (62) 2821  
 nantan@mb.kyoto-np.co.jp

**北桑通信部**  
 0771 (75) 9035  
 (FAX専用)

## 人の判断が命を救う

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町で、「震災を風化させないための語り部バス」を運行する南三陸ホテル観洋の第一営業課長伊藤俊さん(42)が「南三陸から未来へ贈る言葉」と題し

「南三陸ホテル観洋」  
第一営業課長

### 伊藤 俊氏

て講演した。自らも4年9カ月間、仮設住宅暮らしを経験し、想定を超える事態への対応の在り方など「あの日の出来事」を風化させず、教訓として伝え続ける大切さを語った。

伊藤さんは震災発生時に勤務中で、太平洋を望む高台の

## 南三陸から未来へ贈る言葉



東日本大震災を教訓に、自らの命を守る大切さを語りかける伊藤俊さん(南丹市園部町・園部高)

## 災害は想定を超える

ホテルからは大津波の引き波のものを奪い去った」と、被害の大きさを住民が受けた深さ、想像以上だった。同町では620人が亡くなり、200人以上が現在も行方不明だ。私は災害に遭うと思って

た事例に触れ、「マニュアル以上に人の判断が命を救った」と強調した。水道の復旧に数カ月かかり、水洗トイレが使えず衣類は川で洗濯した、など衛生面の対策も重要課題に挙げた。

ホテルは被災者を受け入れた。情報が入り乱れる中、関係者がバラバラに動いて混乱しないようミーティングで情報を共有した、と指摘。落ち

生きてきたわけではない。でも震災前に知っていたら、とも弱まるため、「生きるため考えることもあった」と前置きし、「想定以上のことが起こるのが災害」と語った。

ある結婚式場では高齢者が多くいたため、津波の到達前に避難場所の高台に移動するのは無理と判断。急ぎよ屋上に避難し、327人が助かった。

語り部活動については、情報発信や交流人口を増やして復興につなげる目的も紹介。「被災者は外の人とつながって前向きになれる。『被災地を訪ねたら申し訳ない』と思うかもしれないが、現場で手を合わせる大切なことに気が付くと思います」と締めくくった。

# 年間企画や公共性確保

検定合格者が観光分野などという活躍できるかを考えたセミナー(亀岡市余部町カレリアかめおか)

人が受講した。小松理事長は「団塊世代が退職し、学習や活動の場を求めたり、

【園部高・昭和45年3月卒】3月10日、京都市の料亭で開催。写真。今回は恩師の曾根勝先生の喜寿祝いの会として集つ

## 丹の録

園部高PTAが主催し、約50人が耳を傾けた。(長尾康行)

## まちかど

### 亀岡

休館日 22日、ガレリアかめおか。  
 行政相談 22日後1時半～4時、市役所市民相談室。  
 女性の相談室(法律相談) 22日後6～8時、働く女性の家(総合福祉センター内)。要予約。市人権啓発課0771(25)7171。  
 かめおか認知症カフェ「みのり」 22日後2～4時、余部町のカフェリエル。認知症が心配な人やその家族の相談や交流会。無料(喫茶費用は実費)。問い合わせは市高齢福祉課0771(25)5117。

### 南丹

人権相談 22日前10時～正午と後1～4時、京

**同志会** だより  
 恩師の喜寿祝う

は次の姓は旧姓。伊藤貞野光和、片野正、行、野々口藤孝一、正幸、植大竹(野福嶋)藤田畑(藤

ハイ!ポーズ